要請番号（JL51224A49）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガーナ	G121 バレーボール	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・2024/3・2025/1・2025/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

青年・スポーツ省

2）配属機関名（日本語）

ガーナバレーボール協会

3）任地（ グレーターアクラ州アクラ ） JICA事務所の所在地（ アクラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で 約 0.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

ガーナバレーボール協会は、バレーボールの普及と発展、およびスポーツを通じた青少年の育成、市民活動の促進を目的に、青年・スポーツ省との連携のもとガーナ国内にあるクラブチームが集まって2010年に設立された団体である。同協会の管轄下では、室内バレーボール(実際には屋外で競技されている)、ビーチバレーボール、聴覚障害者バレーボール競技が行われており、国際大会の開催にあわせてナショナルチームの選抜・編成、強化指導、コーチ・審判の育成なども同協会が担っている。年間予算は、US$50,820。

【要請概要】

1）要請理由・背景

ガーナでは、1970年頃から小学校レベルでのバレーボール競技が始まり、徐々に中学、高校、大学、社会人レベルへと広まっていき、現在はバレーボールは国内でも人気の高いスポーツのひとつとなっている。女子ナショナルチームの技術強化に向けた指導を目的に隊員が要請された。特に技術面、精神面の強化、練習・試合の分析など日本人の視点から支援が期待されている。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

首都のアクラで活動を行うクラブチームを巡回し、ガーナ人同僚コーチとともにコーチングを行う(アクラ首都圏には、15のチームが存在するが、活動対象クラブは着任後配属先と相談して決める)。練習は、週5日(月～金)14:00以降、土曜日はクラブ間の試合が行われることが多い。
1. 社会人チーム又はユースチームメンバーを対象に技術コーチを行う。
2. 選手のメンタル面各要素強化のための練習方法を工夫する。
3. 練習や試合の分析を行い、効果的な練習方法を助言する。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

バレーボールコート(屋外)、バレーボール機材

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
協会役員 7名(30～60代)
同僚コーチ 男性40代、FIVBコーチレベル2取得、競技経験30年
活動対象者:
社会人チーム(男性、女性)20～40歳

ユースチーム(男性、女性)8～20歳

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[学歴]：（　　）　備考：

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（競技経験）5年以上　備考：指導に必要なため

[参考情報]：

・大学での競技経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候）　気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

不定期な停電、断水がある。生活使用言語は主にチュイ語。赴任後に現地語訓練を実施する。
日本政府がポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業(2022年度～2026年度)を行っており、「オールジャパンとして今後5年間に世界の700万人にスポーツの価値を届ける」ことの一端を担うことになる案件である。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.